

企業ヒアリングの実施について

1 目的

平成26年経済センサス - 基礎調査では、26年度に「事業所単位の調査」を実施するに先立ち、本・支の関係を整理すること等を目的として、25年度に支所事業所を有する本社等を対象とした「企業構造の事前把握」を実施する方向で検討している。

「企業構造の事前把握」と「事業所単位の調査」を実施するに当たって、企業ヒアリングを行い、調査方法や調査事項等について意見を聴取し、平成26年経済センサス - 基礎調査の具体的な実施方法等の検討に資することとする。

2 実施時期

平成23年9月～10月

3 対象企業数

東京近郊に本社等の所在地のある20～30企業

4 対象企業の選定

原則として、以下の該当企業の中からヒアリングの対象とする企業を選定

■ 事前ヒアリング（9月）

- ・ これまでの事業実施の中で統計局と協力関係のある企業

■ 企業ヒアリング（10月）

- ・ 平成21年経済センサス - 基礎調査の調査結果において国内支所数が100以上の企業のリストを作成し、産業分類と国内支所数を勘案して抽出した企業

5 ヒアリング事項（平成26年経済センサス - 基礎調査の実施に当たっての企業ヒアリング質問票に基づき企業ヒアリングを行う）

(1) ヒアリング方法

企業ヒアリングの対象企業に連絡の上、直接訪問し、ヒアリングを実施

(2) ヒアリング内容

調査関係書類等の説明を行った上で、調査票や調査事項に係る意見を聴取

6 結果報告

ヒアリング結果を取りまとめ、分析した上で、「経済センサス - 基礎調査に関する研究会（第4回）」において報告

企業ヒアリングにおける主な質問事項

	ヒアリング事項	概要・目的
共通項目	記入困難な項目	確認票・調査票に記入が困難な項目がないか、また記入困難である場合はその理由を把握
	調査票の配布・回収方法	郵送回収、オンライン調査に関するニーズを把握 調査客体の利便性等を考慮した配布・回収方法について検討
	調査票の媒体	(調査員調査・郵送調査の場合)紙の調査票、電子媒体どちらを希望するかを聴取し、それぞれのニーズを把握
	記入にかかる期間	記入にかかる期間を聴取し、調査客体の負担感を把握 なお、聴取した情報は回収期間等の実査スケジュール設定の際の基礎資料に活用
	調査月	調査月により、調査客体の負担に影響を与えるか聴取 調査月は7月(企業構造の事前把握については9月)の時期について、決算・株主総会等の予定も含め聴取
	ワーディング	確認票・調査票の記入にあたって、説明がわかりにくい項目がないか聴取
企業構造の事前把握	傘下支所事業所の記入	傘下支所事業所の情報について記入が可能か否か聴取
	支所等の範囲	記入すべき支所等の範囲を理解可能か聴取
	支所等情報のプレプリント	支所等の情報をプレプリントする事で記入者の負担感にどのような影響を与えるのか聴取 支所等の情報をプレプリントするにあたり、どのような順序で並べるのが適当か聴取
	チェーン組織の把握	チェーン組織(フランチャイズ又はボランタリーチェーン)の事業所に関して、企業独自のデータベース等の存在の有無。また、存在する場合、提供が可能かを聴取 フランチャイズ等の情報を事前に入手することで、精度の高い企業名簿を作成することが可能か検討
	外部リソースの活用	業務を民間事業者へ委託して実施することに対する抵抗感の有無 また、抵抗がある場合はどのような点かを聴取
事業所ごとの調査	従業者数の表記(従業上の地位)	従業者数の表記について「常用雇用者・臨時雇用者」又は「正規雇用者・非正規雇用者」のどちらが正確に従業者を把握することができるのか聴取